

NSC Database Library

NSCデータベース製品（NSCStandard版）のご案内

お客様が保有する情報システム環境との親和性を確保するため、公益財団法人国土地理協会が提供する全国町字ファイルの11桁住所コード(町丁単位)に準拠した、NSCStandard版データベースのラインナップを紹介します。

推計要介護度別認定者数

要介護度別認定者数とは

本格的な高齢社会を迎え、かつその進展度合いが加速しつつある我が国では、医療・介護サービス・住宅といった直接的に関係する分野を始めとして、飲食・サービス施設、日用の衣料品・雑貨・食料品等の小売商品に至るまで、あらゆる分野での対応を迫られてきています。

これら全国規模で急速に進展している高齢化に対応していくためには、どの時点でどのように変化していくのか、地域的にはどこがどうなるのか、自立度合い・健康状態の面からみるとどうなのかといったような点を考慮したデータにより、判断していく必要があります。

当社では、こういった高齢者マーケットに関するデータのニーズに対応するため、今後10年間における高齢者人口を推計するとともに、2006年度より改正された「新介護保険制度の基準」によって、要介護度別の認定者数を推計しました。

要介護度別認定者数指標区分

年齢区分別被保険者数
第2号被保険者数(40～64歳人口)
第1号被保険者数(65～74歳人口)
第1号被保険者数(75歳以上人口)

要介護度別認定者数
要支援1認定者数
要支援2認定者数
要介護1認定者数
要介護2認定者数
要介護3認定者数
要介護4認定者数
要介護5認定者数

※当データベースの提供年次は2018年から2027年です。

推計要介護度別認定者数(概要・価格)

概要

このデータは、当社が独自に推計した町丁別の年齢階級別人口と現時点での要介護度別認定者数の値を基に、概ね下記の手順により求めたものです。

Step1 市町村別の要介護度別認定者数を推計

現状における市町村別の要介護度別認定者数の実績値をベースに、年齢3区分(40～64歳、65～74歳、75歳以上)別の認定者発生率を算出し、別途推計した将来10年間の当該年齢区分別人口へ乗じて市町村別の認定者数推計値を求めます。

Step2 要介護度別認定者数推計値を町丁別に配分

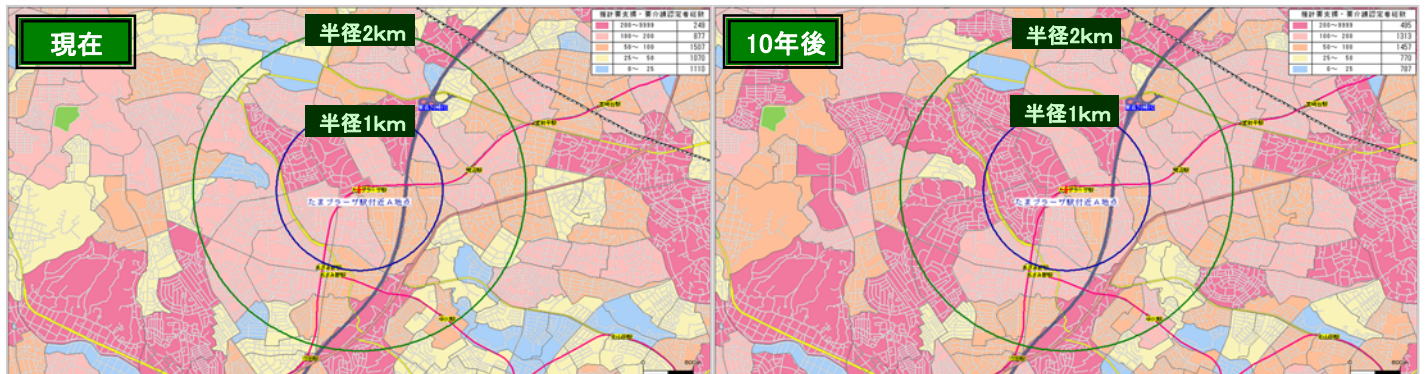
上記で求められた各市町村における当該年齢区分の要介護度別認定者数推計値を、当該年齢区分の町丁別人口の構成比によって配分します。

サンプルマップ

将来、地域にどれ位の介護需要があるのか、総数および要介護度別に見ていくことができます。

- ・現時点、5年後、10年後等の時点における要支援・要介護認定者総数を階級値マップに表示。
- ・施設検討ポイントの周辺状況を確認しつつ、商圏としてのボリュームおよび伸びを確認。

	総数 (10年後)	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	総数 (現在)
A地点周囲1km	1,734	212	246	300	356	231	213	176	1,161
A地点周囲2km	6,441	826	885	1,195	1,257	848	781	649	4,296



価格

価格は、地域範囲、ライセンス数等により変動します。詳細についてはお問い合わせください。

全国 2,500,000円、1都3県 459,200円、東京都 162,000円 (例: 10年分/1ライセンスの場合)

全国 800,000円、1都3県 147,200円、東京都 52,000円 (例: 1年分/1ライセンスの場合)

※上記価格は消費税を含みません。また、提供形態により別途編集費用が必要となる場合があります。

お問い合わせ先

東京・大阪・北九州の各拠点、またはhomepage@nihon-toukei.co.jp

※ご購入後のデータ活用方法についても、お気軽にお問い合わせください。

NSC
Nippon Statistics Center co.,ltd.

株式会社 日本統計センター

URL <https://www.nihon-toukei.co.jp/>

東京 (03) 3847-1701 大阪 (06) 6441-5428
北九州 (093) 521-3726